

離任する先生方からの

お別れのことば

私は、三十八年間の教員生活を、ここ牛久第三中学校で終え退職することに縁を感じています。私は、教諭として、教頭として、また校長として牛久三中に計三回、述べ十年間勤務しました。誰よりも牛久三中の良さを知り、牛久三中に愛着を感じていると自負しています。その学校で退職を迎えられて幸せです。

さて、先日修了式では校歌をCDで流しました。感染防止の為、生徒には歌わずに聞くよう指示しましたが、私はその場の責任者として、その場にいる全員の代表として校歌を歌おうと決めていました。そして歌いました。一番を歌い終えた時、感情が高ぶり声が出にくくなってしまいました。その時近くにいた司会の飯田先生が私の脇に来て一緒に歌いだしました。その心遣いが私を後押しし、3番まで何とか歌い切ることが出来ました。飯田先生は、これが私が歌う最後の校歌になること、今月末で定年退職する私の気持ちをよく理解してくれていました。協で歌い始めた時、私はすぐそれを理解しました。こんな先生のいる三中で勤務できたことをとてもうれしく思い、感激しました。

皆さんと過ごしたこの三年間、三中生のより良い成長に少しは貢献できたかなと思っています。四月からの新学期、気持ちを新たに「なりたい自分」に向かって、学びに向き合い学びの自覚を深められるよう、努力を怠らず成長していくてください。

保護者の皆様・地域の皆様、生徒の望ましい成長のためにご支援ご協力いただきありがとうございます。これまでもこれから、牛久三中は地域と共にある学校です。今後ともどうぞよろしくお願い致します。

牛久第三中学校 校長 柴崎 卓也



「牛久三中のよさを挙げてください」と問われ、一番に挙げるとしたら、「笑顔」です。生徒の皆さんの笑顔、先生方の笑顔、保護者の皆様や地域の方々の笑顔。「笑顔」は、楽しい時や面白い時だけの表情ではありません。つらいことや困難なことをやり遂げた時、全力で取り組んで達成した時、助けてもらった時、誰かを励ます時、挨拶を交わす時…。そんな「笑顔」が三中には、授業中、休み時間、行事、地域での活動中に、溢れていました。そしてそれを支えてくださる多くの方々がいる、あたたかい学校です。一人一人の「笑顔」のために、担任として、学年主任・教務主任として、六年間で少しでも貢献することができていたら何より嬉しく思います。

「笑顔」は人との関わりの中で、支え合いの中で生まれ、パワーを発揮し、人を勇気づけ幸せにします。私もみなさんの笑顔に、多くのパワーをもらいました。これからも人との出会いを大切に、自分も周りも幸せにする「笑顔」を大切に、「なりたい自分」に向かって頑張ってください。

あたたかい保護者の皆様や地域の方々に支えられ、笑顔あふれる三中で過ごせたことは私にとって大きな幸せです。これまでのご理解とご協力に心より感謝申し上げます。皆様の「ご多幸」とご活躍を、心より願っております。

牛久第三中学校 飯田 千枝美

生徒のみなさん、わずか二年間でしたが、沢山の感動をありがとうございました。四月から牛久第二小学校へ異動となり、皆さんとの思い出が頭をよぎっているところです。さて、二月に亡くなった元ヤクルト監督の野村克也さんは『とうするか』を考えない人に、『どうなるか』は見えない」という言葉を残しています。これは、皆さんが教室に掲示していた「なりたい自分になるために」と同じではないでしょうか。「くんな人になりたい」という夢・目標があれば、次は「では、どうすれば良いのか」となります。毎日、「どうすれば良いのか」を意識して行動することが、自分の夢・目標の実現に近づいていくこととなります。今日からでも遅くはありません。真剣に考えてみてはどうでしょうか。

最後に、保護者・地域の皆様、色々ありがとうございました。感謝申し上げます。

牛久第三中学校 橋場 正幸

初任で三中来て早九年。その内四年間は二人の赤ちゃんを産んだのでお休みしていました。今年は、三中に復帰させていただいてよかったと思える一年になりました。

まずは、素直で前向きな若葉学級の生徒に出会えたこと。いつも精一杯、着実に成長する姿にこちらが励まされました。情熱的にワンランク上を目指してがんばれ！という言葉を送りたいです。

次に一年生とともに、私が大好きな理科の授業ができたこと。タンポポの花弁を観察した時の皆さんの目が忘れられません。「本当に花弁がくっついている！」と感動している皆さんの様子に、私も感動しました。また、目の前の現象がなぜ起きているのかをじっくり話し合えた時間も大好きでした。これから、一時間一時間を大切に学習に取り組んでください。

今まで関わって下さった生徒のみなさん、先生方、保護者の皆様、地域の皆様、感謝でいっぱいです。本当にありがとうございました。

牛久第三中学校 杉本 範子

初めて三中で「先生」になり早八年。可愛い生徒たちや、温かく見守ってくださる地域や保護者の皆様、がんばれと助言をくださる諸先生方のおかげで、ここまで頑張ることができました。いつでもみなさまからの「ことば」を支えに、前を向いて歩むことができました。その中でも特に忘れられないことばがあります。四年前の三月、卒業が近づく放課後の教室である生徒に言われたことばです。

『先生』の仕事って大変そうだね。

でも…『大切な人』が毎年増えていくって、良いかも。」

彼女にとっては、いつもバタバタしている担任である私を見て出た、何気ないことばかもしれませんが。もしかしたら、彼女はそんなシーンをすっかり忘れているかもしれません。しかし、私にとっては、「先生」である限り忘れられないことばになりました。

生徒のみなさん。これまで一緒に笑ってくれて、一緒にがんばってくれて、ありがとう。地域や保護者の皆様、先生方。これまで未熟な私を明るい方へと導いてくださり、ありがとうございました。

私の「大切な人」たちへの感謝と「大好き」の気持ちを込めて、別れのあいさつしたいと思います。

牛久第三中学校 小濱 朝日果

「黙想！いただきます！」

私が一日で一番ドキドキ、ワクワクする瞬間です。

栄養教諭として牛久三中に赴任して五年。全ての生徒の心と体が元気になりますようにと、願いを込めて給食をつくってきました。たくさんのパワーをくれる生徒たち、温かく見守ってくださる地域や保護者の皆様、陰で支えてくださった調理員さん、どんな時でも相談に乗り、背中を押してくれた先生方…牛久三中で出会った人々に支えられ、こうして頑張ることができました。

特に忘れられないのはバレーボール部での思い出です。バレー部の皆さん、これまで一緒に頑張ってくれてありがとう。全員で掴み取った勝利、その瞬間に見せたあなたたちの笑顔が、私の宝物です。

生徒の皆さん、失敗を恐れずいろいろなことに挑戦してください。夢は逃げません、逃げるのは自分です。自分を信じて、前を向いて進んでいってください。

最後に、保護者の皆様、これまでのご理解とご協力ありがとうございました。

牛久三中への感謝を込めて…五年間本当にお世話になりました。

牛久第三中学校 塚本 彩香

